

日刊県民福井 掲載記事 平成26年 1月16日

# ガイドで対処法紹介

子どもが夜や休日に病气やけがをすると、急いで病院に行った方がよいのか、家で様子を見ていて大丈夫なのか、とても不安になります。

そんなときに慌てずに対応できるように、県は県小児科医会の協力を得て、よくある症状について自宅で行けることや、病院に行くべきかどうかの目安を掲載した小児救急ガイドブック「こんな時どうする?」子どもの急病・ケガ 知っておきたい対処法」を作成し、保護者に配布しています。

例えば、熱が出たときの対応として、三八度以上の熱があっても、水分や食事が取れ、機嫌が良く、あやすと笑うといった場合は、家で様子を見てもよい。家庭でできることとして、水分補給に気をつける(イオン飲料など)、熱の出始めは寒気がするので暖かくして、熱が上がりきったら涼しくするーといったことを紹介しています。尿が半日くら

## いきいきライフ



県が発行している小児救急ガイドブック

### 夜間、休日の子どもの急病

い出ないときは、病院に行った、せき・せーせーする、くしゃみを勧めています。けいれんを起こした、皮膚のこのほか、吐いた、下痢にぶつぶつができたーなどをした、おなかが痛くなっの内科的な症状、頭をぶつ

けた、やけどをしたーなどの外科的症状について、様子を見てもよい場合、救急病院などに行く場合の目安、家庭でできることを紹介しています。

ガイドブックは、市町の保健センター等で入手でき、県のホームページ(H.P)でも掲載しています。また、小児科の医師が県内の各地域の公民館や保育園などに出向いて、保護者を対象に子どもの急病時の対処法についての講習会を開催しています。

県は、夜間や休日に専門の看護師が電話で相談に応じる「#8000子ども救急医療電話相談」を実施しています。急病で不安なとき、病院へ行った方がよいか迷ったときは利用してください。

【相談時間】月～土：午後7～11時、日・祝日：午後9時～午後11時

【場所】福井市城東4の14の30(福井市休日急患センター内)

【電話】0776(26)8800

## 専門看護師電話相談も

前9時～午後11時

【電話】#8000(短縮ダイヤル)または0776(25)66515

健康